

令和 8 年度入試 募集方法及び受験教科・科目等 令和 7 年度からの変更点

● 一般選抜

◆ 募集方法等

○『人文社会科学部 言語文化学科』において、以下のとおり変更があります。

一般選抜		募集はありません。
人文社会科学部 (昼間コース) 言語文化学科	後期	

○『人文社会科学部 経済学科』において、以下のとおり変更があります。

一般選抜		募集はありません。
人文社会科学部 (昼間コース) 経済学科	後期	

○『教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 社会科教育専修』において、以下のとおり変更があります。

一般選抜		募集はありません。
教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 社会科教育専修	後期	

◆ 大学入学共通テストにおける利用教科・科目

○変更はありません。

◆ 個別学力検査

○変更はありません。

● 学校推薦型選抜

◆ 選抜方法等

○ 『人文社会科学部 経済学科』の学校推薦型選抜において、下記のとおり変更があります。

学校推薦型選抜	令和7年度	令和8年度
人文社会科学部 (昼間コース) 経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 1 志願者全員に経済・経営に関する資料（グラフ、表など）の読解，評価能力を問う試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績，1の結果を総合して選抜します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解，評価能力を問う論述試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績と1の結果を総合して選抜します。
人文社会科学部 (夜間主コース) 経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 1 志願者全員に小論文と面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績と小論文，面接の結果を総合して選抜します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解，評価能力を問う論述試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績と1の結果を総合して選抜します。

● 総合型選抜

◆ 募集方法等

○ 『工学部 機械工学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜		募集はありません。
工学部 機械工学科	全学科枠	

○ 『工学部 電気電子工学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜		募集はありません。
工学部 電気電子工学科	全学科枠	

◆ 選抜方法等

○ 『人文社会科学部 経済学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜	令和7年度	令和8年度
人文社会科学部 (昼間コース) 経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 1 聴講・論述試験 講義（45分程度）を聞いてその内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。 2 レポートに基づく面接 志願者は，以下の課題のいずれかを選択し，事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：（略） 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解，評価能力を問う論述試験を課します。 2 レポートに基づく面接 志願者は，以下の課題のいずれかを選択し，事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：（略） 3 1と2の結果を総合して選抜します。

○『農学部 生物資源科学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜	令和7年度		令和8年度	
農学部 生物資源科学科	第一次選抜	1 基礎学力を問う試験 （「化学基礎」，「生物基礎」） 2 小論文	第一次選抜	基礎学力を問う試験 （「化学基礎」，「生物基礎」）
	第二次選抜	面接（小論文の内容に対する質疑応答を含む）を行います。	第二次選抜	面接（口頭試問を含む）を行います。

◆出願資格

○『人文社会科学部 経済学科』において、以下のとおり変更があります。

総合型選抜	令和7年度	令和8年度
人文社会科学部 （昼間コース） 経済学科 専門学科及び 総合学科枠	<p>高等学校，中等教育学校を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上を取得している人 (ア)日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） (イ)英検準2級以上 (ウ)経済産業省基本情報技術者試験又は全商情報処理検定1級（ビジネス情報部門又はプログラミング部門） 	<p>高等学校，中等教育学校を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業に関する科目のみで20単位以上修得（見込みを含む）の人，もしくは商業に関する科目と科目「産業社会と人間」を合わせて20単位以上修得（見込みを含む）の人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上を取得している人 (ア)日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） (イ)英検準2級以上 (ウ)経済産業省基本情報技術者試験又は全商情報処理検定1級（ビジネス情報部門又はプログラミング部門）

○『情報学部 情報科学科』において、以下のとおり変更があります。

総合型選抜	令和7年度	令和8年度
情報学部 情報科学科 専門学科及び 総合学科枠	<p>高等学校，中等教育学校を令和7年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門教育に関するいずれか一つの教科*の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人 <p>※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。</p>	<p>高等学校，中等教育学校を令和8年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門教育に関するいずれか1つの教科*の科目で合計20単位以上修得（見込みを含む）の人，もしくは専門教育に関するいずれか1つの教科*の科目と科目「産業社会と人間」を合わせて20単位以上修得（見込みを含む）の人 <p>※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。</p>

○『グローバル共創科学部 グローバル共創科学科』において、以下のとおり変更があります。

総合型選抜	令和7年度	令和8年度
グローバル共創科学部 グローバル共創科学科 専門学科及び総合学科枠	<p>高等学校，中等教育学校を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人</p> <p>(1) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人</p> <p>(2) 専門教育に関するいずれか一つの教科*の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人</p> <p>※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。</p> <p>(3) 次の英語力試験のいずれかを満たしている人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test* 40点以上 ・TOEIC* Listening and Reading Test 及びTOEIC* Speaking and Writing Tests 625点以上 （TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。） 	<p>高等学校，中等教育学校を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で，次の条件を全て満たす人</p> <p>(1) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人</p> <p>(2) 専門教育に関する1つ以上の教科*の科目で合計20単位以上修得（見込みを含む）の人</p> <p>※ 専門教育に関する教科の範囲は，情報，工業，商業及び農業，水産，家庭，看護，福祉，体育，音楽，美術，英語，理数とする。</p> <p>(3) 次の英語力試験のいずれかを満たしている人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test* 40点以上 ・TOEIC* Listening and Reading Test 及びTOEIC* Speaking and Writing Tests 625点以上 （TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。）